

# 敬愛

甲斐市立敷島中学校  
学校だより 第10号  
平成30年11月22日  
発行 長田 靖

## ホールの空気を震わせた敷中ハーモニー♪

合唱祭や合唱発表会、あるいは順位を付ける合唱コンクールなど、呼び方や内容は様々ですが、芸術の秋、2学期後半のこの時期に合唱行事が行われる学校が多いようです。会場も自校の体育館だったり、学校外のホールを使ったりと、いろいろです。ちなみに甲斐市の5中学校の内、ホールで実施しているのは2校、竜王中（桃源文化会館ホール）と本校です。



ホールの使用料は公費（甲斐市）で負担してくださり、会場への交通費の一部には、保護者の皆さんにもご協力いただいた有価物回収（1学期）の収益を充てさせていただいています。こういう支援のおかげで、今年もコラーニー文化ホール（大ホール）のステージに敷中生が立つことができました。



スタートの1年生の学年合唱「時の旅人」から、ラストの3学年合唱「海・海を求めて」まで、この日発表された25曲すべてが、練習の成果がよく発揮され、会場に見合うすばらしいものだったと思います。ストレートに元気よく歌う1年生、フレーズを大切に表現しようとする2年生、深みのある声で歌詞の持つ意味を理解して歌う3年生と、それぞれの学年の良さを講師の佐野良彦先生（甲府南西中）がていねいな講評でほめてくださいました。

また、待機の様子や聴く態度、整然とした入退場など、発表以外の場面の落ち着きも文化行事に相応しいもので、たいへん立派でした。

歌うことが好きで、得意な人だけが集まっているわけではありません。歌うのが苦手だったり、人の前に出るのはちょっと…という人もいるのが学校の集団です。私ごとで恐縮ですが、学級担任をしていた頃、上手く指導できなくて、合唱に取り組むのが苦痛になる年がありました。一方、生徒達に助けられて楽しくてしかたがない年もありました。



そんな中でああでもないこうでもない、先生達を巻き込みながら、少しずつ自分たちらしい形になっていく過程が合唱のおもしろさでしょうか。みんなで一緒に歌声を合わせることは、やがて心を合わせることに繋がります。ここに、学級や学年で合唱に取り組むのことの大きな意味があると思います。

参観してくださった保護者から、こんなコメントをいただきました。

- ♪ 心ときめく発表でした。講評にもありましたが、歌詞が大切に歌われていて、メッセージ性を感じて感動しました。思わず、一緒に口ずさみたくなりました。
- ♪ 服装の乱れもなく、マナーも良く、立派な中学生をうれしく思います。来年も来ます。
- ♪ 初めて聴きましたが、すばらしかったです。中学生は全然違うなと思いました。

今年の成果を大きく育て、来年もすばらしい“敷中ハーモニー”を響かせたいものです。

## 県新人大会、各種コンクールでも大活躍！

### ◇県総合体育大会

・ 駅伝競技の部

男子第4位…関東大会出場決定

女子第6位



### ◇県新人大会

・ バスケットボールの部

女子優勝

・ 柔道の部

男子団体第3位 男子個人階級別第2位 大場さん

・ サッカーの部

第3位

### ◇県理科自由研究発表会

入選 増田さん

### ◇県英語暗唱コンテスト

Good Performance 金澤さん

### ◇「夏休みの友」紹介図書感想文コンクール

優秀 齊藤さん、雨宮さん

佳作 山田さん、三木さん、

内藤さん、鈴木さん、

岸本さん、永田さん、

猪股さん

入選 岸本さん、小田切さん

長田さん、櫻井さん



明日11月23日は勤労感謝の日で、学校はお休みです。休みになるのはうれしいに違いありませんが、この「祝日」の意味を考えたことがあるでしょうか。「祝日」、正式には「国民の祝日」は全部で15日あります。そのうち4日は、3連休にするために月曜日を休みとした移動祝日、いわゆるハッピーマンデーです。

わゆるハッピーマンデーです。

祝日を移動してしまうと、本来の意味を見失いがちになりますが、祝日は祝日法という法律で『自由と平和を求めてやまない日本国民は、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞって祝い、感謝し、または記念する日を定め、これを“国民の祝日”と名付ける』としています。祝日はもちろん休日ですが、法律で定められる『祝い、感謝し、記念する』特別な日なのです。

明日が、その祝日のひとつである「勤労感謝の日」です。法律では一前号でも紹介しましたが『勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう』と書かれています。

11月23日は、かつては新嘗祭<sup>にいなめさい</sup>として祝われていたそうです。古事記では日本の国のことを、「豊葦原の瑞穂の国」と書いているように、日本は「美しい稲穂のみのる国」であり、日本の文化には稲作に裏付けられた伝統が多くあります。新嘗祭は、米などの五穀の収穫を感謝し、祝う儀式にちなんだ祝日でした。

今の日本の社会は農業だけではなく、様々な労働による生産と、サービス業を含めた多様な仕事によって成り立っていることは、職場体験をした2年生でなくても理解できますね。皆さんの家族も、いろいろな仕事に就いていることでしょう。

私たちが快適で便利な生活を送れる背景には、どこかで誰かが、私たちの想像をはるかに超えたところで仕事に励んでくれている事実があるのです。そして、それぞれの人が自分の仕事に誇りとやりがいを持ち、仕事に打ち込んでいることを忘れてはなりません。

「勤労感謝の日」は、社会を成り立たせるために働いている人に思いを馳せ、感謝するための日なのです。休みはうれしいものですが、祝日の意味も考えた生活ができたらいいなと思います。